

看保連設立 20 周年に寄せて

外科系学会社会保険委員会連合（外保連）

会長 瀬戸 泰之

看護系学会等社会保険連合（看保連）設立 20 周年、誠におめでとうございます。2005 年 7 月、診療報酬における学術的エビデンスに基づいた適切な看護評価の構築を提言する目的を踏まえ、39 学会の代表が集結して発足されたとのこと。今では、58 加盟学会・団体が参加されるまで成長されておられます。外保連も、外科系診療における適正な診療報酬はどのようにあるべきかを学術的に検討することを主な目的としており、まさに目的は同じであります。医療を取り巻く環境は厳しくなる一方で、職種横断的なチーム医療が求められる時代にもなっています。我々は、このような状況に直面し、これまでも内保連とともにシンポジウムの開催や共同声明の発表を行ってきています。我が国の医療水準を維持し、かつ向上させるためにも我々の連携は極めて重要であり、さらに強化していくことも肝要であると考えています。引き続き、よろしくお願いするとともに、看保連のさらなるご発展をも祈念いたしております。すべては、**For Better Society** のために。